

耳鼻咽喉科

○ 2年目の研修医の自由選択研修

2年間の前期研修期間のうち、2年目の自由選択に耳鼻咽喉科を希望した場合、その期間は、最低1ヶ月、最大8ヶ月間です。1年目に1ヶ月を加えると最大9ヶ月まで可能です。

習得目標

- ・ 臨床に直結した内耳・中耳・鼻副鼻腔・咽喉頭等の幅広い耳鼻咽喉科領域の代表的疾患の検査方法と治療方法、臨床解剖、臨床生理などを習得します。
- ・ 耳鼻咽喉科の基本手術として、扁桃腺摘出術、アデノイド切除術、気管切開、内視鏡下鼻内手術等、基本手技となる手術を、助手から最終的にはオペレーターとしてできるように指導いたします。
- ・ その他
毎週、火曜日の夜には、東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科で行われている勉強会に可能な限り出席していただき、画像診断、病理学診断、最新の医学情報も取得していただきます。また、研修期間中に年二回東京慈恵会医科大学で行われている「内視鏡鼻手術研修会」と「耳手術研修会」があれば、その会にも積極的に参加していただきます。さらに6ヶ月のうち、1～2回は、重要な疾患の学会報告や学術論文の作成を支援します。

○ 3年以降のレジデント研修

後期研修として、最終的には耳鼻咽喉科専門医の試験に合格できる臨床経験を積んでいただきます。外来処置・各種の特殊検査・病棟管理・手術手技の実践的な取得を目標とします。外来は、週2回で初診と再診を行います。可能な限り、内視鏡や顕微鏡を用いた視覚的診断の治療が自由に使いこなせることが重要です。したがって手術はマンツーマン体制で指導します。とくに内視鏡下鼻内手術では、内視鏡下鼻内副鼻腔手術とともに超音波手術やシェーバーメス手術も取得していただきます。頭頸部腫瘍は、癌研究所附属病院の先生と共同手術をし、その指導のもとに手術手技を取得していただきます。そして、研修後半には、救急医療を含め、初期研修医を指導できるほどの知識と技術を身につけられるように指導いたします。

耳科学については、めまい・難聴の検査と治療、詳細な内耳生理と解剖を理解していただきます。さらに、その期間中には、必ず、2～3つ以上の臨床研究のテーマを与え、学会発表、論文作成も支援します。毎週、火曜日の夜には、東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科で行われている勉強会には可能な限り出席していただき、画像診断、病理学診断、最新の医学情報も取得していただきます。研修期間中に年二回東京慈恵会医科大学で行われている「内視鏡鼻手術研修会」と「耳手術研修会」には、積極的に参加していただきます。